

大曲厚生医療センターだより

発行月日 平成27年1月10日
発行責任者 後藤伸一

No.19

基本理念

私たちは、安全で質の高い患者様本位の医療を提供し信頼される病院を目指します

基本方針

1. 常に医療の質の向上と安全な医療の推進に努め広く医療従事者の育成を行います。
2. 患者様の権利と意思を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を提供します。
3. 地域の医療・保健・福祉施設と緊密に連携し地域医療の充実に努めます。



ごあいさつ

大曲厚生医療センター

副院長（内科） 仁村 隆

新病院「大曲厚生医療センター」に移転して、早くも半年以上が過ぎました。屋上ヘリポートの設置、高規格救急車と救急隊員が院内に常駐する県内初の救急ワークステーションの開設、救急診療でも使用頻度の高いCTを2台設置、県内2施設目の緩和ケア病棟の新設、更に立体駐車場や、介護施設「やすらぎ」に渡り廊下でつながるなど、病院基本理念にあるような質の高い、患者様本位の医療が提供できるような体制が整いました。

また新病院開院以降も、より充実した看護が提供できる7対1の看護配置の導入や、更に厚生労働省の方針に沿った、回復期の患者様に対応する地域包括ケア病棟の新設を行いました。これに対応すべく看護職員の増員もなされています。更に喜ばしい事に、平成27年度の臨床研修医の応募が26年度の倍以上の8名を確保することができました。

外来部門でも、県内でも有数の受け入れ患者数の救急部門を拡充し、多くの患者様を同時に診療できるようになりました。救急車が直接院内に搬入し、速やかな診療開始ができ、手術にも対応できるようになりました。内科系部門でも、発熱や咳の患者様の、待合室や診療室を換気の整った別の部屋に分けて、感染の拡大を防ぐ体制が充実しました。院内の案

内専門のスタッフの雇い入れ、まだまだ充分とは言えませんが、患者様の待ち時間短縮を図るべく、予約制の充実、待ち時間を患者様が有効に利用できるように、呼び出しブザーの導入を行いました。地域の医院・診療所などとの連携を図り、センターとしてより重症の患者様により多くの時間や医療資源を投入すべく、安定した患者様の近隣の医院・診療所への紹介を勧めています。

現在病院では、これらの体制に自己満足せず、外部の評価も得るべく、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の更新を平成27年3月に受審予定です。これに向けて全ての診療のプロセスの見直しやバージョンアップを進めています。スタッフの数の増員のみならず、質の向上も図るべく、職員研修も数多く行い、研修医勉強会なども、研修医自身の意見も取り入れながら、更なる充実を図っています。患者様のみならず、医療者側からも選ばれる病院を目指しています。

地域の皆様にも、当院のサポーターとなって頂き、応援・また厳しいご指摘を宜しくお願い申し上げます。

最後に寒い季節、暖かくして風邪などひかれませんようお過ごしください。

患者様の権利

患者様の立場にたった医療を提供するため、以下の権利を尊重します。

1. 人格を尊重されて、丁寧で思いやりのある医療を受ける権利
2. 良質で安全な医療を公平に受ける権利
3. 医療の情報や説明を理解した上で、治療方針を自己決定できる権利
4. 診療に関する情報などのプライバシーを保護される権利
5. セカンドオピニオン（別の医師の意見）を求める権利

JA秋田厚生連

大曲厚生医療センター

秋田県大仙市大曲通町8-65
TEL 0187-63-2111（代表）
FAX 0187-63-5406

ホームページ

URL <http://www.senbokukumiai-hp.gr.jp/>
E-mail senbokuk@crocus.ocn.ne.jp

